

主催：障害のある子どもの放課後保障全国連絡会（全国放課後連）

共催：立命館大学人間科学研究所

障害のある子どもの放課後保障講座

全国放課後連では、立命館大学人間科学研究所との共催で、「第6回研修会：障害のある子どもの放課後保障講座」を2010年2月21日（日）に京都において開催します。障害のある子どもの放課後活動の制度化についての検討をしていくために、池添素氏（京都・らく相談室）の講演会、「全国アンケート調査」最終報告、意見交流分散会を行ないます。

ぜひ、ふるってご参加ください。

2010年2月21日（日）

午前10時30分（10時開場）～午後4時30分

立命館大学（衣笠キャンパス）敬学館1階230号室（定員300人）

京都駅より市バス「立命館大学前」行きで約35分。

立命館大学正門から敬学館まで徒歩6～7分。

近くに飲食店がないため、昼食をご持参ください。



【資料代】 500 円

[全国放課後連加盟の都道府県連絡会の皆様へ](#)

障害のある子どもの放課後活動の制度化に向けて、連絡会として要望・意見などをまとめたものがある場合には、その資料を100部ほどご持参ください。

【当日プログラム】

10 : 30 ~ 12 : 30 **講演会**

「障害児支援の課題と展望 ～ 相談活動から見えてくる願い」

講師：池添 素氏

(京都・らく相談室、障害乳幼児の療育に応益負担を持ち込ませない会事務局長)

講師は、障害児支援の最前線において、相談活動を行なうほか、厚労省との交渉、国会での参考人陳述などで活躍中です。著書に『子どもの権利と障害者自立支援法 国連に障害児の声を届けよう』(編著、全障研出版部)など。現在の情勢を踏まえて、障害児支援はどうあるべきかを語ります。



13 : 30 ~ 13 : 45 **基調報告**

「第6回研修会」への基調報告を全国放課後連事務局から行ないます。

13 : 45 ~ 14 : 15 **「全国アンケート調査」最終報告**

報告者：丸山啓史(京都教育大学、全国放課後連副会長)

障害のある子どもの放課後活動の制度化に向けて、全国の事業所の状況や要望を把握するために2009年に実施した「全国アンケート調査」の最終報告を行ないます。

14 : 30 ~ 16 : 00 **意見交流分散会** ~

障害のある子どもの放課後活動の制度化に向けて、意見や要望を参加者のあいだで交流します。3つの分散会に分かれて行ないます。

16 : 00 ~ 16 : 30 **全体会 (各分散会からの報告)**

「意見交流分散会」で出された内容を報告し合います。

本企画は、財団法人キリン福祉財団並びに文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業オープン・リサーチ・センター整備事業「臨床人間科学の構築 - 対人援助のための人間環境研究」の研究成果として広く社会に発信するものです。